

学校目標・経営方針	◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成 ◎広い視野をもち、地域社会の形成にすずんで参画できる生徒の育成		
本年度の重点目標	1. 魅力ある授業の工夫をとおして、学習意欲の向上と確かな学力の定着をはかる。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2. 日々の教育活動をととして、良好な人間関係と規範意識の醸成をはかる。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3. キャリア教育を推進し、各々の適性に応じた進路の実現をはかる。		C 不十分である。(4割以上)
	4. 笛吹市との包括連携等を活かして、地域課題に取り組む意識と行動力を育てる。		D 達成できなかった。(4割以下)

山梨県立笛吹高等学校校長 井上 孝悦

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価							
番号	評価項目	本年度の重点目標	具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(2月4日現在)		
					自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学習意欲の向上と確かな学力の定着をはかり、魅力ある授業づくりに向けた授業改善の工夫	単元などをまとまりとした評価シートを作成し、授業を通して身につけた力を生徒に評価させ、学習方法の改善や学習意欲の向上を図る。また、それを授業改善や個に応じた指導に役立てる。	「やまなしスタンダード」7つの視点の実践に向け、相互授業参観等を通じ、教科を超えて学び合い、魅力ある授業づくりにチームとして取り組む。	【授業アンケート】 【評価シートの活用状況】	・Classroomで課題の配信・提出確認、健康観察など、双方向にやり取りすることができるようになり、休校期間を有効活用しながら、ICT活用が一気に進んだ。 ・「やまなしスタンダード」に基づき、本時のテーマを明確にし、到達目標を示すことにより、学習意欲の向上を図った。 ・授業の振り返りは、それぞれが評価シートを作成し授業改善に活かしている。 ・グループ討議など話し合う場面がなかなか持たなかった。 ・授業アンケートによると、「学習習慣の定着」について、肯定的回答が約70%と90%を超える他項目に比べて低い結果となっている。 ・今未来手帳を行動記録等の記入に活用していたクラスもあったが、活用状況に差も見られた。	B	・教室のみならず屋外の授業でも、Wi-Fiルータを利用することにより、資料提示が円滑になり生徒の意欲・関心が高まる授業形態が定着しつつある。 ・目標が示されたことで、その達成に向けて意欲的に取り組む姿勢が見られた。 ・振り返りの評価方法やシートの実践事例などを教科会議で共有し、全体でも研修する機会を持つ。 ・話し合いの機会を増やしながら、ICTで生徒の意見を共有するなど工夫したい。 ・「学習習慣の定着化」について、課題を出すところから始めるなど、手立てを講じる必要がある。 ・職員研修で手帳を有効活用している事例を紹介する。生徒にも年度当初にオリエンテーション等で紹介する。教科・学科会議で今未来手帳の活用を検討する。
2	良好な人間関係と規範意識の醸成を目指した、日常的な教育活動の工夫	挨拶指導の徹底や言葉遣い・聞き方の指導を通じて、社会の中で良好な人間関係を作り上げるための基本的マナーを身につけさせる。	学校行事・部活動・地域交流など、多くの人と関わり合い良好な人間関係を形成する場面を設ける。	【登校指導の実施】 【学年・学科集会など様々な場面での指導】	・定期的な会議だけでなく、日頃の状況をリアルタイムに共有できるようになった。 ・ほとんどのPTA活動が中止になったが、数少ない行事は無事に実施できた。	B	・担任だけでなく様々な立場から全教員体制で指導をしていく。 ・共にできることを模索しながら行事を実施したことで、学校と保護者の絆が深まる結果となった。 ・制約がある中で人間関係や地域との交流の在り方を学ぶ機会と前向きに捉えて、生徒自身にできることを模索させたい。 ・精神面に問題を抱える生徒が増加傾向にあるが、迅速に連携・対応している。 ・配慮が必要な生徒は今後も増加していくと思われるので、研修会などを行う。
3	各々の適性に応じた進路を実現するためのキャリア教育の実践	「総合的な探究の時間」「LHR」「産業社会と人間」等を活用し、外部機関等と連携しながら効果的なキャリア教育を行う。	インターンシップやオープンキャンパス等を有効に活用し、社会の一員としての職業観を養い、将来の職業選択の基盤を作る。	【計画的な進路ガイダンスの実施】 【地域社会への関心度】	・インターンシップの中止は残念であったが、課外や模試、外部の協力により、ガイダンス・説明会はほぼ計画通りに実施することができた。 ・年度当初に部活動顧問や分掌主任が直接HPで情報発信できるよう講習会を行い、学校の最新情報を迅速に発信してもらうことができた。	B	・土曜講座などは精査し、説明会等もwebなど代替方法を検討していく。 ・新しい生活様式に基づき、安全・安心な環境をつくりつつ、生徒会行事や部活動を実施していく。 ・部活動との両立を図りながら、土曜講座等の授業外でも「学びに向かう力」を身につけさせる。 ・諸行事や休校期間の状況など情報伝達にClassroomを活用できた。
4	具体的な学習の場面において、学んだことを積極的に生かし、他者と連携・協働しながら課題解決する力を育む	地域の外部行事を積極的に伝達するとともに、その行事等を企画の段階から自主的に取り組み、社会参画の場を工夫し、成就感や自信が持てる実践的な取り組みを行う。	ウエルカム笛吹・フェスタ笛吹の行事を通じ、地域社会の一員としての所属感や連帯感をさらに強く持てるよう育成する。	【生徒会活動の充実】 【広報活動の充実】 【笛吹市との包括連携による活動】	・包括連携は相手方の受入辞退により8割以上未実施、また実施しても一部の学科に偏った。 ・校内の関係部署と連携を取り、どのような情報を取り上げるか早めに検討し、情報発信してきた。 ・フェスタについては形態を変え、マルシェとして農場で開催することができ、地域に本校の活動について周知することができた。またアンケートから生徒は達成感や成就感を得ていた。	C	・早く対面での交流ができることが望ましいが、成果物のやり取り等で補う必要もある。 ・今後も月間行事予定などを確認して、行事後速やかに情報を発信していく。 ・新しい生活様式を取り入れながらできることに取り組み、生徒と地域との関係性を深めさせた。

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月15日)	
評価	意見・要望等
4	・いち早くICT活用に取り組む準備が整っていたことは非常に有意義だった。Classroomの双方向性を今後多面的につかえようと思う。 ・ICTと並行して「今未来手帳」の充分な活用があることで、生徒ひとりひとりの「学ぶ意味」が自覚的になっていくように思われる。 ・授業を見て、どの生徒も楽しそうに受けていた。 ・アンケート結果を見ると生徒が意欲的に勉強している様子がうかがえる。 ・継続して活動してほしい。 ・教師側からの評価は高くないが、生徒側の評価が高いことから、感染症の状況でも、十分成果が上がっているといえると考ええる。先生方がいかに努力をしているかがよくわかる。 ・未曾有の状況下にあつて、先生方も多用を極められている中、最善を尽くされようとしていらっしゃると思いました。 ・生徒の評価結果から、学習の目標を明確にしたり、主体的に対話的な活動を仕組もうとしていることがよくわかる。
4	・コロナ禍にあつて人間関係の構築は従前と大きく様変わりしている。今後、「集まること」以外での関係づくりを考えていく必要がある。 ・挨拶やマナーなど、社会の一員になるための指導について、生徒の評価が高いことから、実際案に表れているという実感を生徒達が持っていることがわかる。とてもすばらしいことだと考える。 ・いじめの救、内容とも改善されている。 ・コロナの中、工夫した学校行事を生徒が積極的に参加しており、人間関係も良好である。
4	・現状の中、キャリア教育を外部に頼らず、校内授業などで充実させている努力に対しては素晴らしいこと！と考える。 ・社会へ出た時即戦力となるキャリア教育は大切である。保険の勉強は興味深かった。 ・生徒が将来を真剣に考える教育となる様、望む。 ・進路ガイダンスや職業講話、キャリア教育等についても、生徒の評価が高い。学校の指導や学校からの情報を、生徒たちはしっかりと受け止め、進路選択に役立てていると考える。 ・学校を訪問した時も、多くの生徒がさわやかなあいさつしてくれた。
3	・食品化学科や果樹園芸科における実験実習や、地域活性化に向けた取り組みは、将来の笛吹市にとって、とても有益なものばかりである。笛吹高校で学んだ生徒たちが、本市の発展に貢献することが期待できる。 ・学校行事を通じた地域とのかかわりは、十分できていた。 ・行政とのかかわりを強化する様、行政側と意志統一し、win-winの関係を目指す。 ・ライブでのコミュニケーションが大きな制約を受ける中でもあり、協同性の担保には課題も残るかと存じますが、そこは次年度の「ひらく」として改善していけますよう、借越すら期待申し上げます。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。